

第27回鳥取県図書館大会 ICTを活用した図書館のあり方～デジタル化によるメリットを学ぶ～

# 学校図書館×ICT活用

～デジタルとアナログの融合の先にある新しい図書館をめざして～

## 学校図書館支援センターの取組事例から考える



鳥取県立図書館 支援協力課

学校図書館支援センター

学校図書館支援員併小中学校課指導主事

橋中真紀子

1 はじめに

2 学校図書館支援センターの取組

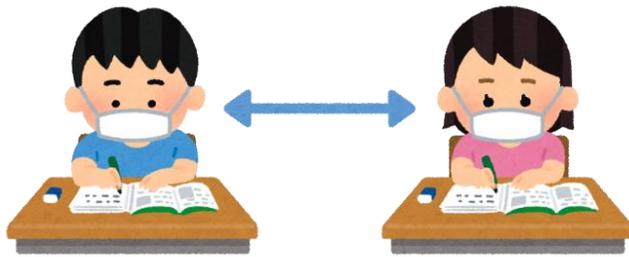
- ・ 研修の視点から

- ・ 環境整備の視点から

3 おわりに

# 1 はじめに

# 学校図書館、児童・生徒をとりまく環境の変化



1人1台端末

コロナ禍での制限  
オンライン授業

GIGAスクール  
探究活動



# 1人1台端末時代の学校図書館

小中学校・・・1人1台端末

デジタル教科書の導入

高校・・・BYAD (Bring Your Assigned Device)

日常のDX

遠隔  
オンライン

学びのDX

個別最適化

授業のDX

PBL・STEAM

ハード

ICT環境整備の抜本的充実

- ・一人一台
- ・高速ネットワーク

ソフト

デジタルならではの学びの充実

- ・デジタル教科書・教材
- ・ICT活用した学習活動

指導体制

日常的にICTを活用できる体制

- ・教員のICT活用

## 2 学校図書館支援センターの取組

平成27年4月開設

# 「学校図書館支援センター」

◆都道府県立図書館内に設置は**全国初!**

鳥取県独自システム

◆県立図書館長、学校図書館支援員をはじめとした館内チーム、小中学校課、高等学校課、特別支援教育課、教育センター、各教育局の学校図書館担当指導主事で構成

◆「生きる力を育むとっとり学校図書館活用教育推進事業」の実施

**学校図書館の活用を支援します!**

鳥取県立図書館  
学校図書館支援センター  
平成27年4月開設

鳥取県立図書館が  
学校教育をバックアップ!!

~主体的に学び続けることができる  
大人になるために~

学校図書館の機能向上を支援

学習センター機能  
読書センター機能 情報センター機能  
心の居場所

鳥取県立図書館内に「学校図書館支援センター」を設置し、保育所・幼稚園、小・中学校、高等学校、特別支援学校の学校図書館(等)活用教育の推進に資する研修及び情報提供を行います。

|                                    |                                 |        |
|------------------------------------|---------------------------------|--------|
| 市町村立教育委員会等が行う学校司書・司書教諭・教員の研修会に講師派遣 | 高等学校、特別支援学校、市町村立図書館等への訪問相談      | 資料相談   |
| 市町村図書館、学校図書館を通じた授業に使う図書の出貸         | ホームページ「学校・先生のためのお役立メニュー」による情報提供 | 研修会の開催 |

# とっとり学校図書館活用教育推進ビジョン

改訂：令和4年3月

## ◆就学前から高等学校まで

### 見通しをもった学校図書館活用教育を推進!

## ◆学校図書館活用教育を進めるうえでの方針を提示

- ・つなげる (人と情報を結ぶ)
- ・ひろげる (学びを豊かにする)
- ・そだてる (未来をつくる)

ビジョン全文はこちら→



### とっとり学校図書館活用教育推進ビジョン

改訂版

**ビジョンとは**

高知県教育委員会では、児童生徒の生きる力や主体的に学ぶ力の育成に向け、就学前から小・中・高校まで一貫した見通しを踏った学校図書館活用教育を進める上での指針となる「とっとり学校図書館活用教育推進ビジョン」を平成28年3月に策定し、子どもたちの読解活用能力の育成に取り組んでまいりました。

**ビジョン改訂の趣旨**

「ふるさとキャリア教育」を高校等の学校図書館の場面で取り進んでいくこと、GIGAスクール構想の中で導入が進められているICT活用教育に対応するために、子どもたちの読解活用能力の強化に取り組む必要が生じていることなど学校図書館を取り巻く環境が著しく変化していることと鑑み、「とっとり学校図書館活用教育推進ビジョン」を令和4年3月に改訂しました。

**鳥取県の学校図書館活用教育で目指す方向**

| 児童生徒及び関係者への資料・情報の利用促進等の実現 | 学習・教育(読解課題)の課題の可読性の拡大 | 生涯・キャリアに対応する力の育成    |
|---------------------------|-----------------------|---------------------|
| <b>人と情報を結び(つなげる)</b>      | <b>学びを豊かにする(ひろげる)</b> | <b>未来をつくる(そだてる)</b> |
| <b>【以下省略】</b>             | <b>【以下省略】</b>         | <b>【以下省略】</b>       |

# つなげる・ひろげる・そだてる学校図書館 ～学校図書館活用ハンドブック～

## 学校図書館活用を具体的に 進めるための資料

- ・学校図書館活用の年間計画・各種行事等
- ・学校図書館を活用した具体的な取り組み、授業づくりのヒント
- ・司書教諭、学校司書の役割と連携について  
など



# (1) 市町村立図書館と連携した小中学校・義務教育 学校の図書館支援

- 市町村教育委員会への訪問
- 研修への講師派遣
- **研修会の開催**
- 市町村立図書館を通じた資料の貸出
- 資料相談(レファレンス)
- 選書支援  
(授業活用見本図書セットの紹介、新刊児童図書全点購入)
- 学校図書館応援コーナーの充実

## (2) 高等学校・特別支援学校の図書館支援

- ・各学校への訪問相談
- ・研修への講師派遣
- ・**研修会の開催**
- ・学校図書館へ資料の直接貸出
- ・資料相談(レファレンス)
- ・選書支援
- ・生徒・教職員向け図書館セミナー等の実施
- ・高校生向け講座の開催(「高校生ビジネスプラン作成講座」など)
- ・高等学校図書館教育研究会、特別支援学校図書館教育研究会との連携

### (3) 学校図書館活用教育の推進

- ・ホームページ等による情報提供  
(学校図書館を活用した授業実践事例、ブックリストなど)
- ・学校図書館活用年間計画モデルの作成  
(小学校版、中学校版作成、R4年度高等学校版作成予定)



# 研修会の開催

## (1) 県立図書館主催の研修

- ・学校図書館活用教育普及講座
- ・学校司書のためのICTスキルアップ研修会
- ・学校図書館司書研修
- ・学校図書館新任司書研修→学校司書実務研修
- ・図書館業務専門講座



## (2) 鳥取県教育センターとの連携

- ・新任司書教諭研修
- ・司書教諭研修
- ・学校図書館専門研修



# R3年度学校図書館活用教育普及講座

**目的** GIGAスクール構想により、1人1台端末の本格的な活用が積極的に進められている中、これからの学校図書館活用教育に求められていることを講義と演習をとおして学び、学校全体での実践につなげる研修を行う。

**内容** 「これからの学校図書館活用教育に求められること

～GIGAスクール構想の展開を支える学校図書館のDX化～

午前：講義「これからの学校図書館活用教育に求められること」

午後：演習「電子書籍体験、デジタルパスファインダー」

**講師** 帝京大学教育学部初等教育学科 教授 鎌田和宏氏  
**対象** 各学校の管理職、授業にかかわる全教職員、関係者  
公共図書館職員、市町村（学校組合）関係者、学校図書館担当者等

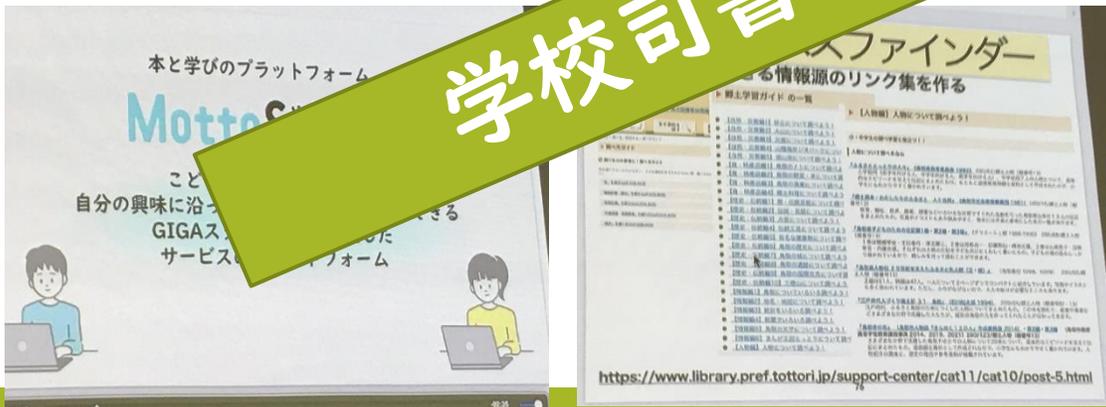
**期日** R3年8月18日（水）中部会場（岐阜県庁）  
8月19日（木）西部会場（高松市）  
8月20日（金）東部会場（長野県庁）  
定員40名

キャンセル待ちが出る等、関心が高い

学校司書のICT活用スキルの向上

参加者の感想より（学校司書）

- ・演習時、自分のICT活用スキルが不足して、未消化で終わったことが残念。
- ・ICT活用のスキルを伸ばしたい。



# R4年度学校司書のためのICTスキルアップ研修会

ねらい

GIGAスクール構想の展開を支える学校図書館を目指すために、学校司書や司書教諭はICTを駆使したレファレンス力が必要不可欠になることが予想される。そのために、**まずは学校司書が端末利活用のスキルを高めていく必要がある。今回は、その第1歩につながる研修会として、Google本社の方による学校司書のための研修会を開催し、学校司書のICTスキルアップにつなげる。**

期日

- (1) 令和4年6月29日(水) 午前の部 9:40~12:20 鳥取県教育センター
- (2) 令和4年6月29日(水) 午後の部 13:50~16:30 鳥取県教育センター
- (3) 令和4年6月30日(木) 午前の部 9:40~12:20 米子コンベンションセンター
- (4) 令和4年6月30日(木) 午後の部 13:50~16:30 米子コンベンションセンター
- (5) 令和4年9月7日(水) 午前の部 9:40~12:20 倉吉体育文化会館

※(1)~(5)すべて同じ研修内容、  
**各回定員40名×5=200名**

鳥取全県の小中義務教育学校に勤務する学校司書をカバーする定員

内容

講義：Google Workspaceの仕組みとアプリの基本的な操作について

演習：Google Workspaceアプリの基本的な操作

Google Classroomを作成し、読書便り、新刊案内、読書イベントお知らせ等の投稿、Google フォームでの「図書館クイズ」や「図書館オリエンテーリング」を体験、Google Classroomを通じて、Google スライドでの同時編集等

講師 Google 認定資格取得講師  
福家 夏希氏



ICT導入を成功させるカギとなる

# Google for Education 学校・教育機関向け研修

Google より認定されたエキスパート\*がノウハウをお伝えします



研修の理解度



**93%**

\*当社実施アンケート3,024名様の回答結果

東京Google本社から講師  
を招聘し、会場参集型で  
開催、初級編（ログイン  
から）

6月29日 東部会場  
午前＋午後 42名参加



6月30日 西部会場  
午前＋午後 62名参加

2日間合計  
104名参加

Google認定講師より

- ・全国各地で研修を担当しているが、学校司書だけを対象にした研修会は、**鳥取県が初！（R3年度）**
- ・R4年度に入り、自治体によっては、学校司書向けの依頼が入ってきている。

教育関係者の研修のべ参加数

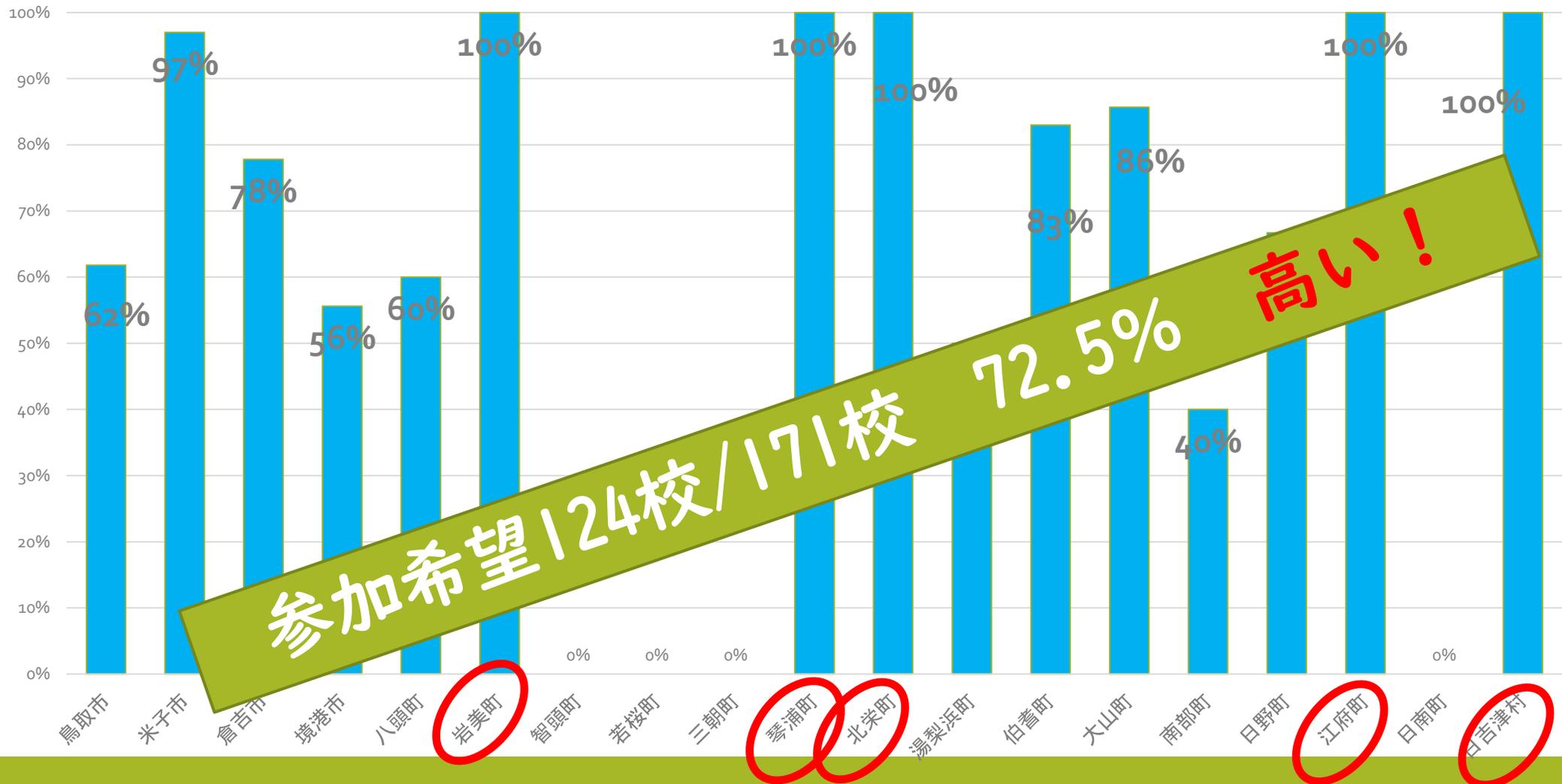


**25,000**名以上

※2015年から2022年2月までの実績

# 市町村（学校組合）教育委員会別参加希望率

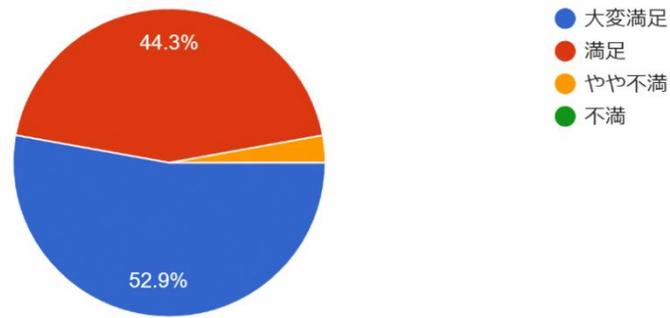
研修会参加希望率



# 学校司書のためのスキルアップ研修会の感想

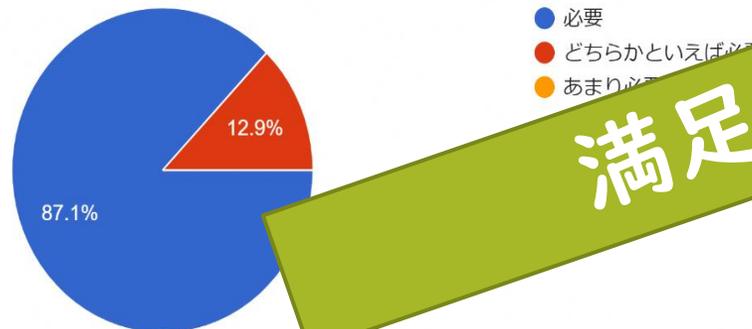
問1 本日の研修はいかがでしたか？該当の項目を選んでください。

70件の回答



問5 このような研修は今後も必要だと思いますか？該当の項目を選んでください。

70件の回答



- **司書の活用に焦点を的確に絞っていただけたことも有難く感じました。今後実践を重ねていくのが我々次第であるなど、大きな課題を抱えた気持ちです。**
- **学校現場では、どんどんICT活用されていて、図書館はだいぶ遅れをとっていると感じてました。今回研修を受けてやっとスタート地点に立てたと思いました。**
- **今回の研修会がなければ図書館活用でICTを使うすら考えなかったと思います。図書館活用がもっとたくさん活用できることが分かりました。**

- **教諭用の研修に比べて司書が参加することによって、司書向けの講座を開催していただきありがとうございます。**
- **職員研修などに参加していないし、使った事なかったもので、そのようなことが出来ることも知らなかったもので、知ることによって次に繋がれることができると思えたから。**
- **学習の支援などが求められる学校司書にとって、授業でどのように活用されているかを知る必要があると思います。**

**満足度高い！ 必要感高い！**

# 学校図書館担当指導主事連絡協議会

## 学校図書館担当指導主事連絡協議会（文科省主催）

### ◆R3年度オンライン開催（R4年2月）

- ・学校図書館の整備充実

（文部科学省総合政策局地域学習推進課図書館・学校図書館振興室）

- ・新学習指導要領と学校図書館の利活用について

（文部科学省初等中等教育局視学官）

- ・1人1台端末時代の学校図書館～「読む力」「書く力」「活用能力」の

育成～（全国学校図書館協議会理事）

- ・杉並区の学校図書館支援～（杉並区教区委員会指導主事）

- ・低学年から考える～学校図書館とICT～

（川越市立中央図書館司書教諭）

### ◆R4年度オンライン開催（秋頃の予定）

学校図書館担当指導主事も毎年研修受講



# 3 おわりに

# 学校図書館に携わる人

学校図書館運営委員会のメンバー



**校長**  
(学校図書館長)

学校図書館の利活用を明示

**教職員**

授業  
読書活動や学習活動



**司書教諭**

運営の総括  
学校図書館活用教育の  
企画・実施

**学校司書**

専門的、技術的職務  
教育指導への支援



**協働**



**協力**  
図書館ボランティア

**連携**

情報教育 (ICT) 担当



各市町村立図書館

県立図書館

# 1人1台端末・高速通信環境がもたらす学びの変容イメージ

これまでの教育実践の蓄積

× ICT

=

学習活動の一層充実  
主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善

## 「1人1台端末」ではない環境

### 一斉学習

- 教師が電子黒板等を用いて説明し、子供たちの興味関心意欲を高めることはできる



学びの  
深化

## 「1人1台端末」の環境

- 教師は授業中でも一人一人の反応を把握できる  
→ 子供たち一人一人の反応を踏まえた、双方向型の一斉授業が可能に



### 個別学習

- 全員が同時に同じ内容を学習する（一人一人の理解度等に応じた学びは困難）



学びの  
転換

- 各人が同時に別々の内容を学習できる
- 各人の学習履歴が自動的に記録される  
→ 一人一人の教育的ニーズや、学習状況に応じた個別学習が可能に



### 協働学習

- グループ発表ならば可能だが、自分独自の意見は発信しにくい（積極的な子はいつも発表するが、控えめな子は「お客さん」に）



- 一人一人が記事や動画等を集め、独自の視点で情報を編集できる
- 各自の考えを即時に共有し、共同編集ができる  
→ 全ての子供が情報の編集を経験しつつ、多様な意見にも即時に触れられる



# 1人1台端末・高速通信環境がもたらす学びの変容イメージ

これまでの  
教育実践の蓄積



ICT



学習活動の一層充実  
主体的・対話的で深い学び  
の視点からの授業改善



これまでの  
学校図書館活用の蓄積



ICT



読書センター、学習セン  
ター、情報センター機能の  
一層の充実  
主体的・対話的で深い学び  
の視点からの授業改善

未知の状況でも情報を活用して主体的に判断できる力

目的や場面に応じて情報源や使うツールを選択

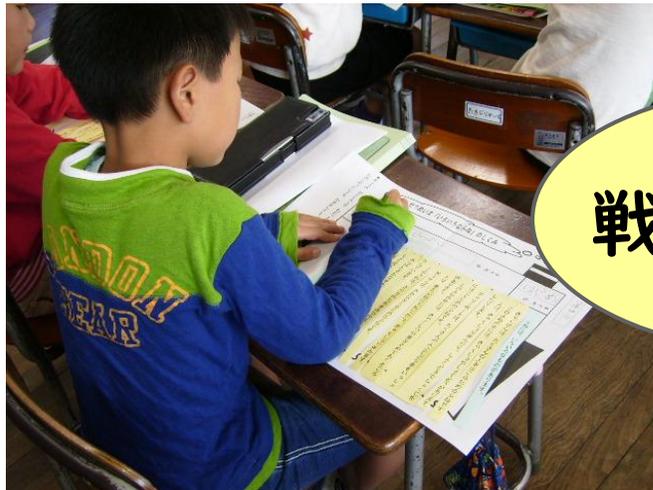
学校図書館活用教育

ICT活用教育

アナログ



デジタル



戦略をもって

デジタルもアナログも互いに補完し合う  
ベストミックスを図る

# 未来の学校図書館（イメージ）

一人になれる個室を用意し、教室に行きづらい子供の居場所にも

タブレット端末を配置し、最新の情報機器をいつでも活用できる環境

読み物だけでなく、科学技術や自然科学に関する蔵書も充実



・校長のリーダーシップによる学校図書館の活用  
・司書教諭が、学校の年間指導計画を作成  
・学校図書館利用者数の目標を設定 など

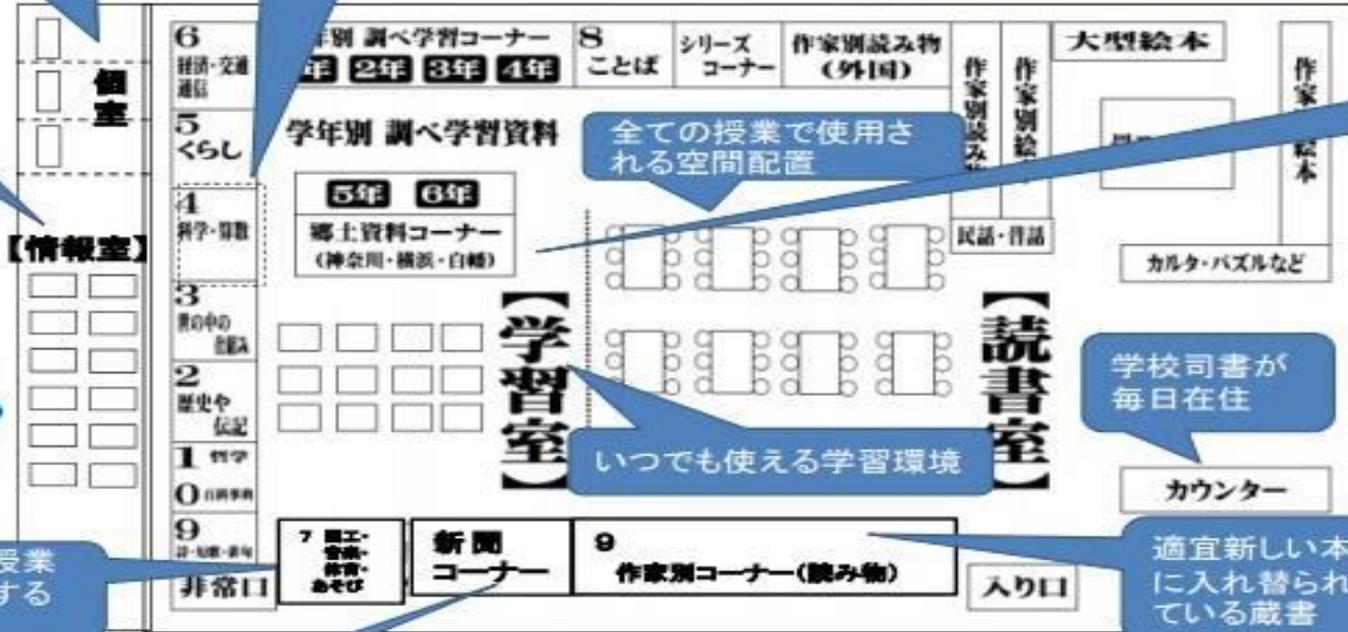
地方創生・観光ツーリズムにも資する、地域に関する充実した蔵書

## 地域との連携



運営ボランティアとして、学校図書館の運営をサポート

全ての授業に対応する蔵書



## 学習支援



放課後、サポートスタッフによる学習のフォロー



## 【準備室】



学校司書やサポートスタッフのための事務室

## 各種学校施設の機能を兼務！

複数紙配置



保健室



放課後



教室



PC室